

書籍紹介

「非破壊検査工学叢書 —非破壊検査の最前線— 」 CD-ROM

日本非破壊検査協会は昨年 10 月 25 日で創立 50 周年を迎え、去る 10 月 23 日にはその記念式典を挙

行した。いくつか企画された 50 周年の記念事業の一つとして発刊されたのが、この「非破壊検査工学叢書 —非破壊検査の最前線— 」である。叢書の刊行は、今から数年前、50 周年記念事業実行委員会（委員長、福岡秀和 元 JSNDI 会長）が発足した時点から、当協会出版委員会が企画元となり、尾上守夫東大名誉教授を委員長とする編纂委員会を設立して、協会が総力を挙げて取り組んで来た出版物である。

通常、協会等の編纂で行われるこの種の叢書は、その学会がカバーする学問領域の全てを基礎から応用までを一貫して網羅的に解説・紹介するというスタイルで、大部の又は多巻の成書として刊行されることが多い。しかし、本叢書では、そのような立場はとらず、その応用範囲を急速に拡大しつつある非破壊検査工学の最近の進歩とその最先端技術の現状に焦点を絞り、さらに将来展望まで含めて、それらを集大成したものとなっている。その意味で、70 名以上の執筆者のほとんどは、文字通り各 NDI 分野の“最前線”で現にアクティブに活躍されている研究者、技術者の方々である。

本叢書は通常の本籍の形をとらず、CD-ROM による電子出版形式によるもので、全 4 巻から構成されており、ボリューム的には 1 巻が通常の本籍の 1 冊に相当すると考えてよい。

第 1 巻は、非破壊検査工学の理念的バックグラウンドというべき内容で、安全と検査の信頼性、標準化・規格の理念、動向や認証制度等が記述されている。

第 2 巻では、損傷・きずを対象とする、非破壊検査に関する具体的な理論と手法の最近の進歩と現状ならびに展望が書かれている。

第 3 巻は材料・構造物の劣化・損傷を対象とする最新の診断・モニタリング技術についての内容となっている。

最後の第 4 巻では、その応用範囲が広がりつつある各種産業分野における先端的な非破壊検査技術がまとめられている。

本叢書は電子出版であり、各章節は PDF 形式のファイルになっている。したがって、ウェブ発信やオンライン配布が容易に行える。当然ながら、カラー画像のみならず、動画も収録されており、シミュレーション技術などの理解を一層深めることができる。また、検索エンジンが付加されており、全文の検索が自由に、容易に行えるという、読者にとっては便利で、活用し易い形になっているのも特長の一つであるといえる。

全文の電子出版という形式がとられたため、内容、ボリュームからみて通常の本籍に比較し、極めて安

価となっていて、学生や若手技術者にも入手し易い手頃なものといえる。非破壊検査技術を研究する研究者・技術者、それを応用する又は応用しようとしている現場技術者や NDI を学ぼうとする学生ばかりでなく、関連する工学技術者、学生の多くの方々にとって座右の CD-ROM としての御利用をお勧めしたい。

【頒布価格】

定 価： 本体 4,762 円＋税 （送料別）

■ CD-ROM の動作環境について

[Windows]

- (a) OS …………… Windows98 以上
- (b) CPU …………… PentiumMMX 233MHz 以上
- (c) HDD の空き容量 …… 20MB 以上
- (d) メモリ …………… 64MB 以上
- (e) CD-ROM ドライブ ・ 8 倍速以上
(Windows98 以上の環境下で問題なく使用できるもの)
- (f) 画面の表示色 …………… 256 色以上
- (g) 動画の再生環境 …… Windows Media Player Ver 7 以上

[Macintosh]

- (a) OS …………… MacOS8.1 以上
- (b) CPU …………… PPC604 166MHz 以上
- (c) HDD の空き容量 …… 20MB 以上
- (d) メモリ …………… 64MB 以上
- (e) CD-ROM ドライブ …… 8 倍速以上
- (f) 画面の表示色 …………… 32,000 色以上
- (g) 動画の再生環境 …… QuickTime 3.0 以降※
※コントロールパネルの「QuickTime 設定」で「QuickTime 互換機能を使用する」のチェックが ON になっていること。

